

(基本政策)  
活力にあふれ躍動するまちづくり

まちづくりの基本目標

川崎の特徴や長所を活かし、  
持続型社会の実現に貢献する

協働と協調をもとに、いきいきと  
すこやかに暮らせるまちをつくる

自治と分権を進め、愛着と誇りを  
共有できるまちをつくる

基本政策の枠組み

基本政策  
「活力にあ  
ふれ躍動  
するまち  
づくり」

施策体系イメージ

川崎を支える産業を育  
てる

新たな産業の芽を出す

臨海部から川崎の再  
生を進める

都市の拠点機能を整  
備する

基幹的な交通体系を  
構築する

今後取組むべきと考えられる主な課題

ものづくり機能の発展

新産業創出

環境関連技術、生活文化産業  
の振興

コミュニティビジネス

商店街を活かしたまちづくり

国際的な物流拠点の整備

国際化される羽田空港の活用

広域的な調和性を踏まえた拠  
点づくり

広域ネットワークを重視した交  
通基盤

人を惹きつける魅力的な駅周  
辺開発

臨海部再生整備

基本的視点反映のポイント

企業の有する技術の蓄積を  
活かし、地球環境に貢献す  
る国際環境の拠点を形成し、  
持続型社会を構築する

川崎再生の原動力となる産  
業の再生・振興とこれを支  
える基盤整備を推進し、先  
駆的な取組を推進する

首都圏における広域的役割  
を認識し、川崎のポテンシ  
アルを活かした国際競争力の  
向上や広域連携を図る

政策に反映すべき基本的視点

新たな時代にふさわしい価値観の  
創造と先駆的な取組を進める

首都圏の好位置にある  
川崎としての個性を活かす

相互信頼に基づき自立と  
自己決定を尊重する

市民が実感できる効果的な政策  
を経営的視点に立って創造する

「政策に反映すべき基本的視点」に基づく施策の転換例

事例

ものづくり機能の発展と新産業の創出

～ 川崎に蓄積された産業資源と立地優位性を活かした機動的な産業政策 ～

- ・陸海空の交通網、高度なものづくり機能、豊富な人材等の地域資源を活用し、技術の高度化を促進する
- ・人々のくらしに役立つ産業、持続可能な社会を構築する産業を育成し、真に豊かな地域社会を創出する
- ・川崎の産業を内外に発信し、国際的な競争力を強化するとともに、環境分野における国際貢献を目指す

臨海部再生

～ 臨海部の活性化と雇用創出 ～

- ・生産機能の移転による低未利用地を活用した企業誘致などの土地利用転換
- ・立地企業の有する環境技術やものづくり技術を活用した研究開発拠点の形成と国際貢献
- ・羽田空港再拡張・国際化による国際競争力の向上や国際物流拠点としての首都圏における広域連携

施策展開のイメージ

新しい産業活力の創出に向けて

- ・ものづくり産業の活性化(国際競争で優位性を持つ加工技術集積・研究開発集積のあるクラスターの形成)
- ・起業風土の醸成(産業振興財団のコーディネート機能、KSP、THINKのインキュベート機能の展開)
- ・福祉産業・環境産業・生活文化産業の創出(福祉産業創出支援、環境産業フォーラム、ヒューマンライフかわさき)

産業再生・都市再生・環境再生をめざして

- ・国際的な環境技術の情報センター、産業創造拠点の形成
- ・都市再生緊急整備地域における都市拠点基盤整備、交通基盤整備(道路、鉄道)、物流拠点整備
- ・工場緑化の促進、多摩川スーパー堤防や親水・防潮ラインの整備などによる市民に憩いのある空間形成